

悩みや疑問を解決するグループワーク勉強会

『車いすシーティングが導く GOOD LIFE!』



『明日から使える車いすシーティング理論と実技』
～在宅で頼られるスタッフへ～



ビーケア訪問看護リハビリステーション

理学療法士 田中 優

理論の内容 (20分)

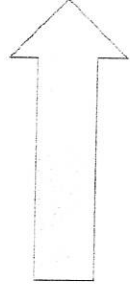
1. シーティングとフィッティング
2. フィッティング (誰が・どこで使う・何のために使う)
3. 合っていないSOS
4. 車いすの選定
5. 車いす身体フィッティング

車いすシーティング→フィットティング

シーティング

座っている姿勢を良くする
座面（クッション）を選定する

専門家



フィットティング
ニーズに合わせる
環境に合わせる
在宅スタッフ

チェック

標準型車いすの多くは適正な身長は165cm～175cmです。

高齢者に一番多い身長は145cm～160cmなので利用される方の状態や体格に合ったサイズを選定することが必要です。

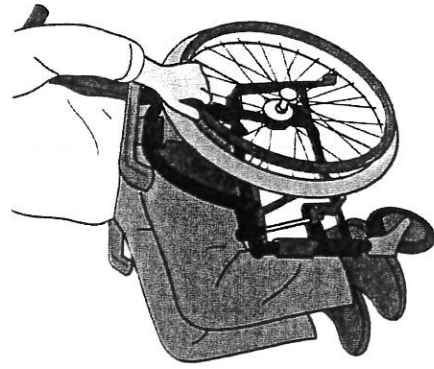


フイッティング

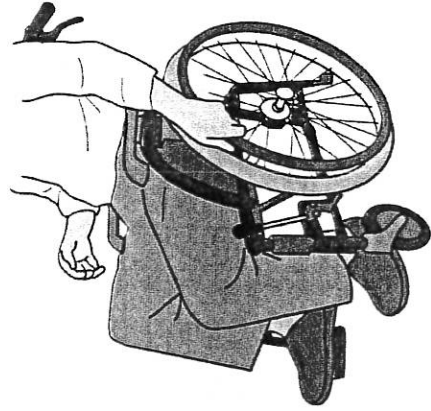
- ① 誰が使う
- ② どこで使う
- ③ 何のために使う

- 車いすのフィッティングをするうえで重要なのは
『誰が使用する』ことです。
- 男性の方？ 女性の方？ 年齢や体形（大柄または小柄の方）
- ご病気は？ 腕？ 足？ 半身不随？
- 移動方法は？ 自走？ 介助？

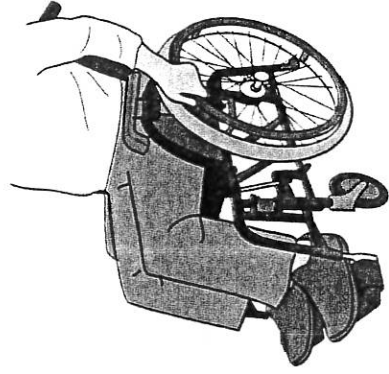
駆動方法のバリエーション



【足駆動】



【片手片足駆動】

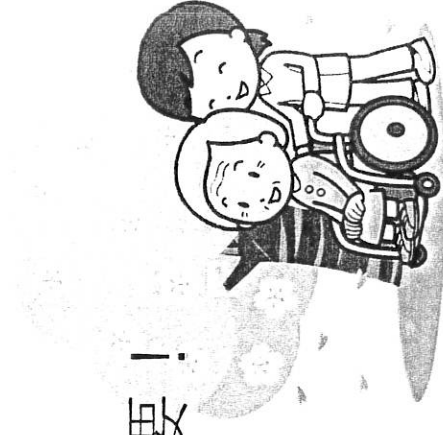


【手駆動】



主に使用場所と使用場面

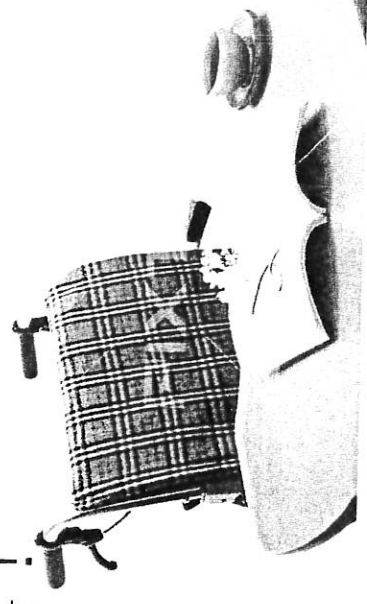
- 家で使用する？施設で使用する？
- 学校で使用する？
- 外出時又は屋外で使用する？
- 使用する環境にちゃんと合っているかが重要！



主に使用する目的です

移動するため使用する？食事の時に使用する？活動するため使用する？椅子代わりに使用する？

使用する目的にきちんと合っているかが重要！



フィッティング

①誰が ②どこで使う ③何のために使う

『機能が良い車いす』 『機能が悪い車いす』 という視点ではなく
『適している』 『適していない』 という視点で選定することが
フィッティングには重要です！

合っていないSOS

本人の体

- ・車いすに座りたくない → シーティングに問題の可能性
- ・前にずり落ちる（仙骨座り） → 座位のポジション（横）
- ・傾く（左右への傾き座り） → 座位のポジション（縦）
- ・立ち上がりにくい → 高さ又はスペースの問題
- ・駆動しにくい（移動動作） → 車輪の大きさ、ハンドリム

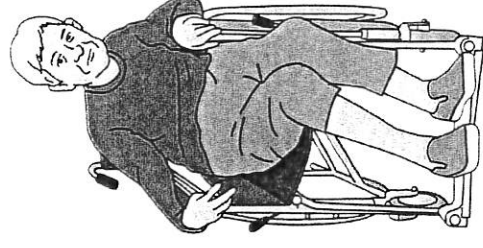
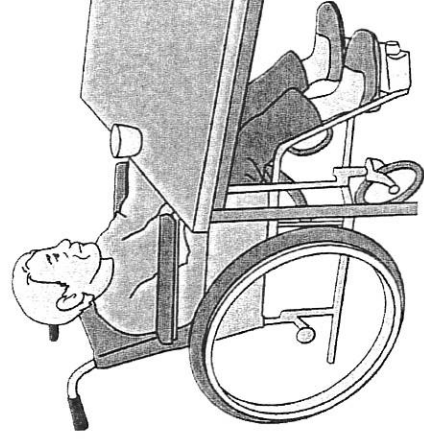
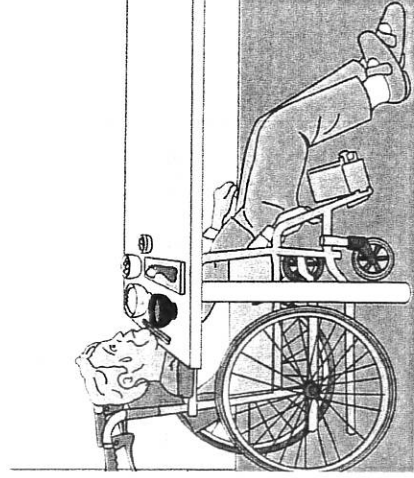
環境

- ・方向転換がスムーズに行えない → 車いすの大きさ又は家の環境
- ・テーブルの高さに合っていない → 車いす座位又はテーブルの高さ

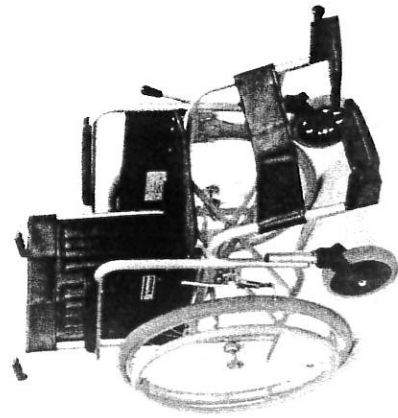
それらの結果

- 食事がうまく取れない→誤嚥、食事量の低下
 - 休めない
 - 活動の低下
- 疲労、不良姿勢時間の延長
 - 車いすへ座らない

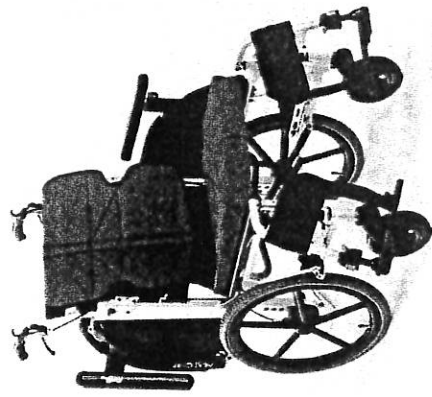
寝ている時間の延長



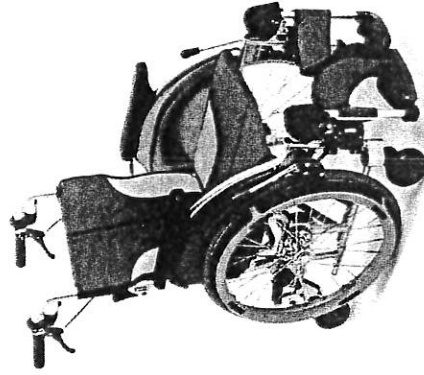
車いすの選定



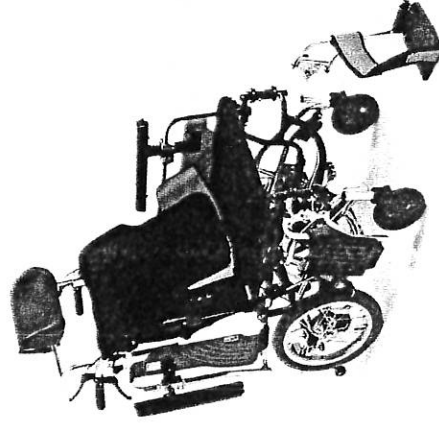
標準型



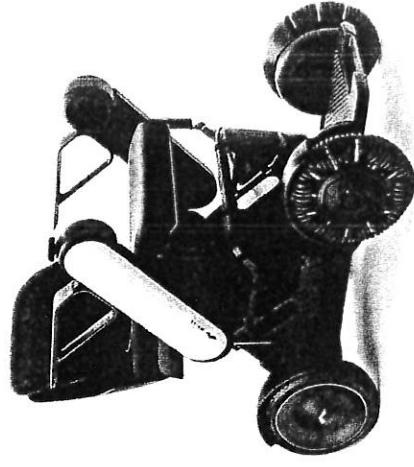
モジュールタイプ



6輪タイプ



リクライニング



電動車いす

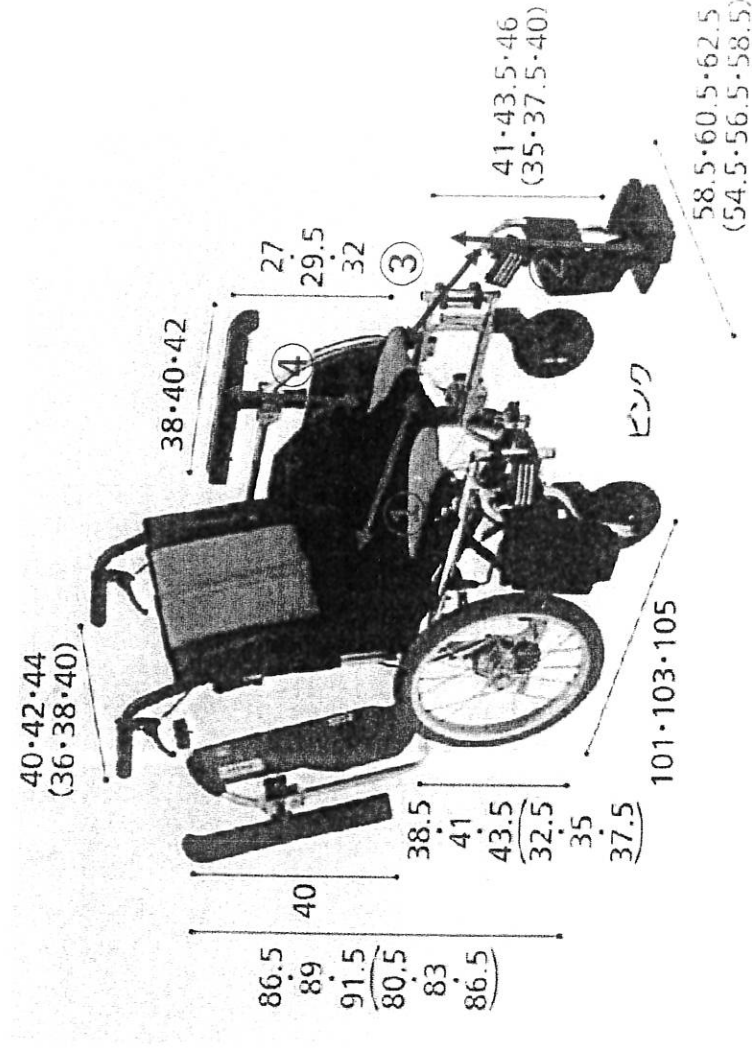
車いすのフィッティング

①座面のサイズ（奥行きの長さ）

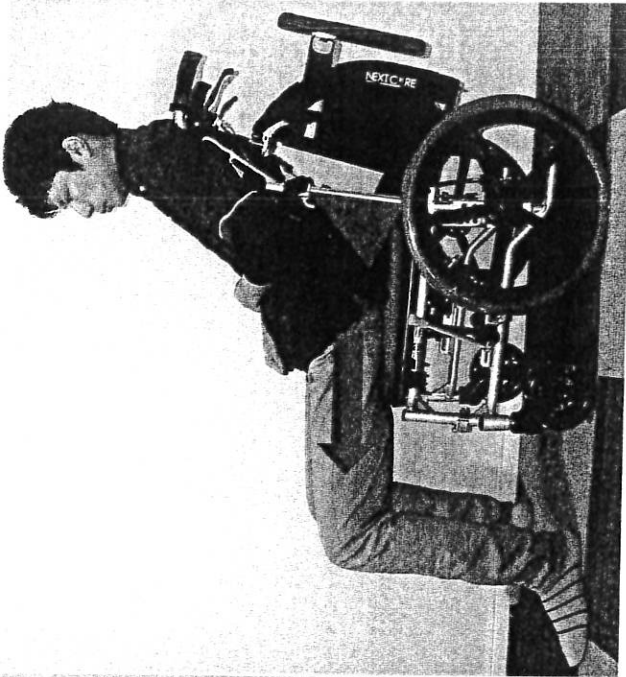
②フットレストの高さ

③フットサポートの位置

④アームサポートの高さ



姿勢が崩れてしまう...



『車いすシーティングが導く GOOD LIFE!』



車いす座位を体験

- ①車いす座位 フットレストの高低 アームレストの高低
- ②良姿勢と不良姿勢 (仙骨座り、傾き座り)
- ③車いすの自走 (足、手、右又は左半身)